

公園施設等利活用・適性化事業
地域に愛される公園づくりを考えよう！

桜木小学校区 公園ミーティング ※

第1回ワークショップ

※ 2回の説明会と3回のワークショップを総称して
「公園ミーティング」としました

本日のテーマ 公園を語ろう

地域に愛される公園再編、みんなで考えよう！

本日の予定

- ① 前回説明会の振り返り
- ② 地区アンケート結果
- ③ 再編方針素案の説明(全体)
- ④ 意見交換
(桜木小学校区 再編素案説明を含む)
- ⑤ 発表



公園ミーティングの予定

- ・全5回の説明会とワークショップを、約半年間かけて開催します



全体説明会①

2026. 6月28日

WS 第1回

2026. 8月30日

WS 第2回

2026. 10月頃

WS 第3回

2026. 11月頃

全体説明会②

2026. 12月頃

地区アンケート実施

公園を考えよう

- ・事業概要の説明
- ・学識経験者の講話
- ・質疑応答

説明会方式

公園を語ろう

- ・公園現況、再編方針素案の説明
- ・素案をもとに公園利用イメージを話し合う
- ※3つのグループ毎で話し合い

本日

グループでの話し合い方式(WS)

方向性の検討

- ・各公園の特徴(整備テーマ)の検討
- ・やりたいことを話し合う。

再編方針の検討

- ・再編方針の確認
- ・再編方針を前提に、桜ヶ丘公園に求める機能を話し合う。

とりまとめ

- ・地区の再編計画を発表
- ・整備スケジュール

説明会方式

計画に基づく工事

※ ★ 「かわら版」を作成し、地区に回覧

① 前回説明会の振り返り

公園ミーティング かわらばん

第1回テーマ：地域に愛される公園づくりとは



■開催概要

日時：

令和8年6月28日（日）

14：00～15：20

会場：桜木小学校体育館

参加者：36名

■第1回説明会の流れ

1. あいさつ
2. 事業内容の説明
3. 質疑応答
4. 次回の予定
5. おわりのあいさつ

なぜ今、「公園の見直し・再編」が必要なの？

■公園見直し・再編の背景と目的

- ・多くの公園が整備から30年以上経過し、遊具や設備の傷みが進行。
 - ・現代の公園は、子どもの遊び場だけでなく、高齢者の健康維持、子育て世代の交流、災害時の拠点など、多様化する地域ニーズへの対応が必要。
- ↓
- ・安全で使いやすく、地域ニーズに対応した公園となるよう、みんなで公園の再編計画案づくりを行う。

■桜木小学校区を対象とした理由

- ・桜木小学校区は開園から30年以上経過した公園が多い。
- ・あまり利用されていない公園がある。

再編ってどういうこと？

■公園の再編のタイプ

「機能」の再編と「配置」の再編

【機能の再編】

○みんなが使いやすい公園になるように、役割を「みなおす」。



【配置の再編（集約化）】

○地域に親しまれ、使われる公園となるように、公園を「まとめる」。



計画づくりはどうやって進めるの？

■スケジュール

★令和8年 6月28日（今回）

全体説明会 ①

- ・事業概要や公園再編に向けての説明

★令和8年 8月～11月

住民ワークショップ（3回）

- ・グループ毎意見交換

★令和8年 12月

全体説明会②

- ・とりまとめ、報告

★令和9～10年度

実際の整備工事

- ・令和10年度中の完了を目指す

公園ミーティング かわらばん

第1回テーマ：地域に愛される公園づくりとは

Vol.1



岡本肇 先生のお話

- ・豊川市の公園は他自治体と比較して綺麗に管理されている
- ・少子高齢化、担い手不足、管理コストの上昇を踏まえ、先を見据えた**持続可能な公園づくり**を住民と一緒に考える
- ・誰にとって使いやすいか、防災機能、緑や休憩の場など、**小学校区全体で公園の役割を考え**、再編することが重要
- ・似たような遊具や機能を有する小規模公園を見直す時期に来ており、公園は「数」から「質・環境」への転換が必要
- ・**地域の特徴**を生かした公園づくりが重要



臼井直之 先生のお話

- ・公園再編は単なる施設更新ではなく、公園の役割や行政・住民の関係性を変える「**革命**」
- ・豊川市の取り組みは、**公園を通じたレボリューション**であり、今日の話のテーマは「TPRM」(Toyokawa Park Revolution Meeting)
- ・ワークショップは、**地域で大切にしたい価値を共有し、公園づくりに関わる仲間をつくる場**
- ・公園づくりでは「**どんな暮らしや幸せを実現したいか**」を考えることが重要
- ・公園は、人との出会いを通じて「**できなかったことができるようになる**」地域の大切な場所



参加者の声

- Q ・2年以上かかるような大規模な工事ではないか？
- A ・現時点ではその予定。今後の話し合いにより変わる可能性はある。
- Q ・集約により廃止となる公園の補修等は後回しとなる？
- A ・今後決定することと、修繕が必要な箇所のバランスを考えて検討。
- Q ・ワークショップのメンバーは、できる限り多くの方が参加すべき。
- A ・老人会や子ども会、公募枠、かわらばん等により多くの人の意見を吸い上げる。
- Q ・他自治体の事例の中で、失敗だったという地域の声はあるか？
- A ・不明。今、研究としてやっている。
- Q ・高架下の公園は、震災があった場合は危険な場所になる。
- A ・様々な側面から安全な公園となるように事前に検討をしていく。
- Q ・オープンな公園にイスやテーブルがあれば、外出および健康な方も増え、災害時の避難もしやすくなると思う。
- A ・今後の参考にする。

●データでみる「公園の現状と課題」①

■桜木小学校区の

現状と課題

- ・古い公園が多く、施設が老朽化

⇒維持管理費は年々増加。

- ・同種の遊具が配置された公園が複数ある

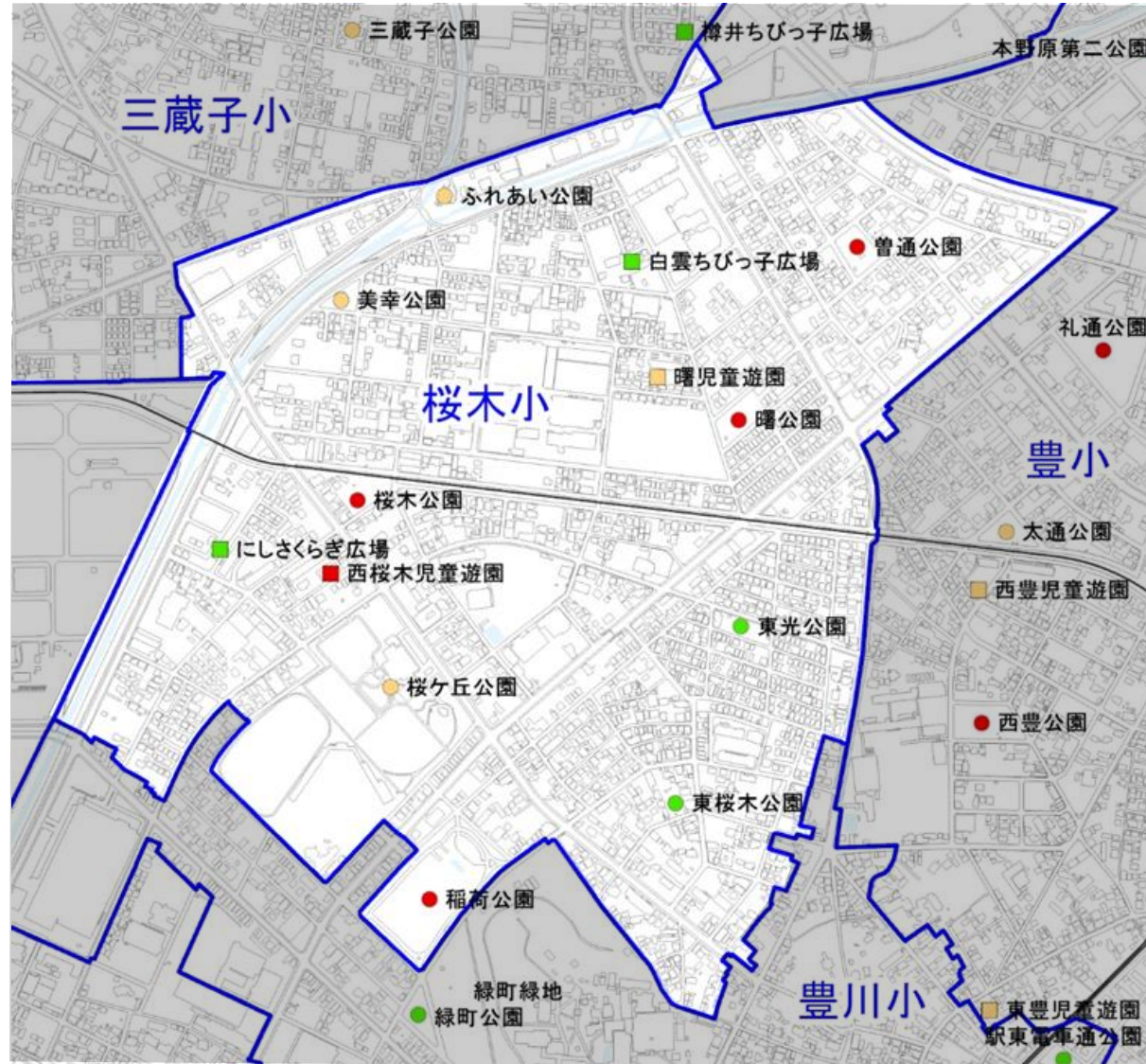
⇒利用者のニーズに対応しきれない

- ・公園の誘致圏重複率は大半が50%を超えている

⇒近接する公園が多い



「量より質」への転換が求められている



公園名	面積(m ²)
美幸公園	1,580
曙公園	3,054
桜木公園	2,092
東桜木公園	1,127
東光公園	2,000
曾通公園	2,804
ふれあい公園	1,282
稲荷公園	24,535
桜ヶ丘公園	40,809
西桜木児童遊園	617
曙児童遊園	345
白雲ちびっ子広場	257
にしさくらぎ広場	232

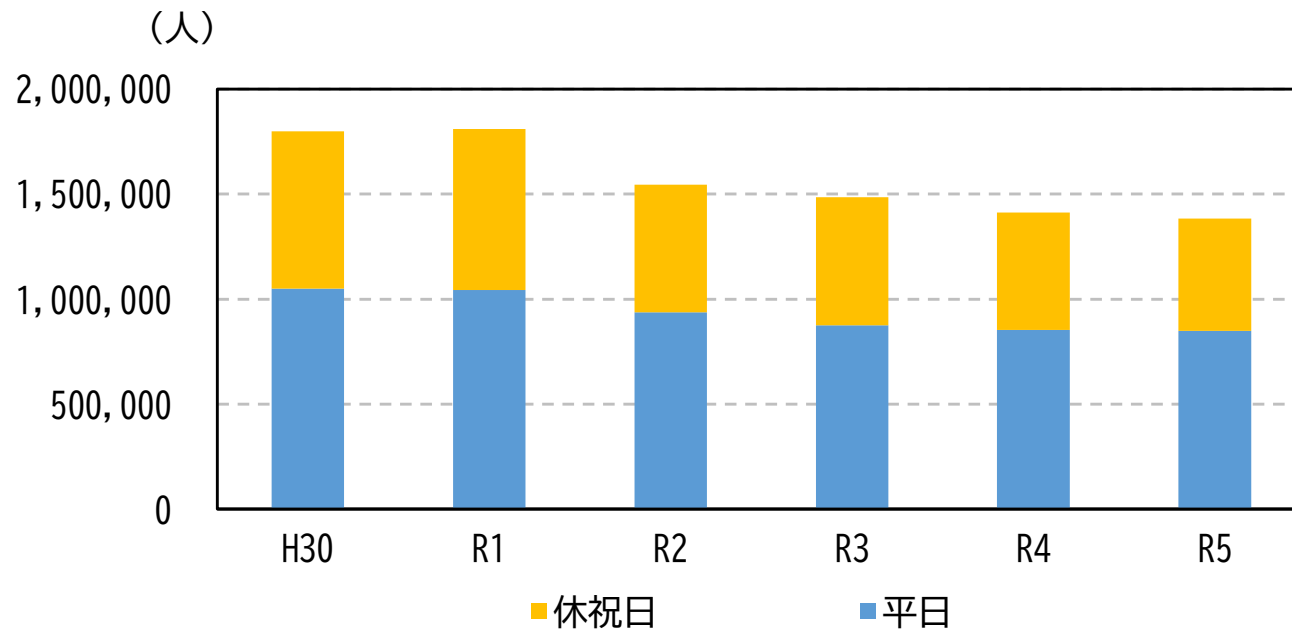
経過年数

- 都市公園-30年未満
- 都市公園-30年以上50年未満
- 都市公園-50年以上経過
- その他-30年未満
- その他-30年以上50年未満
- その他-50年以上経過

●データでみる「公園の現状と課題」 ②

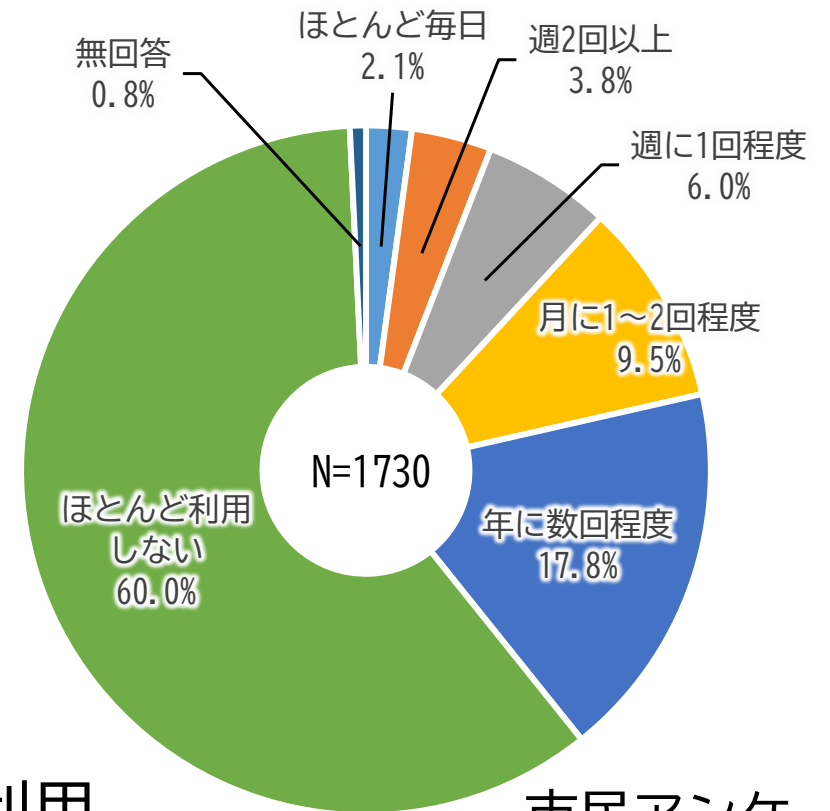
■公園利用者

⇒年々減少傾向



■身近な公園の利用頻度

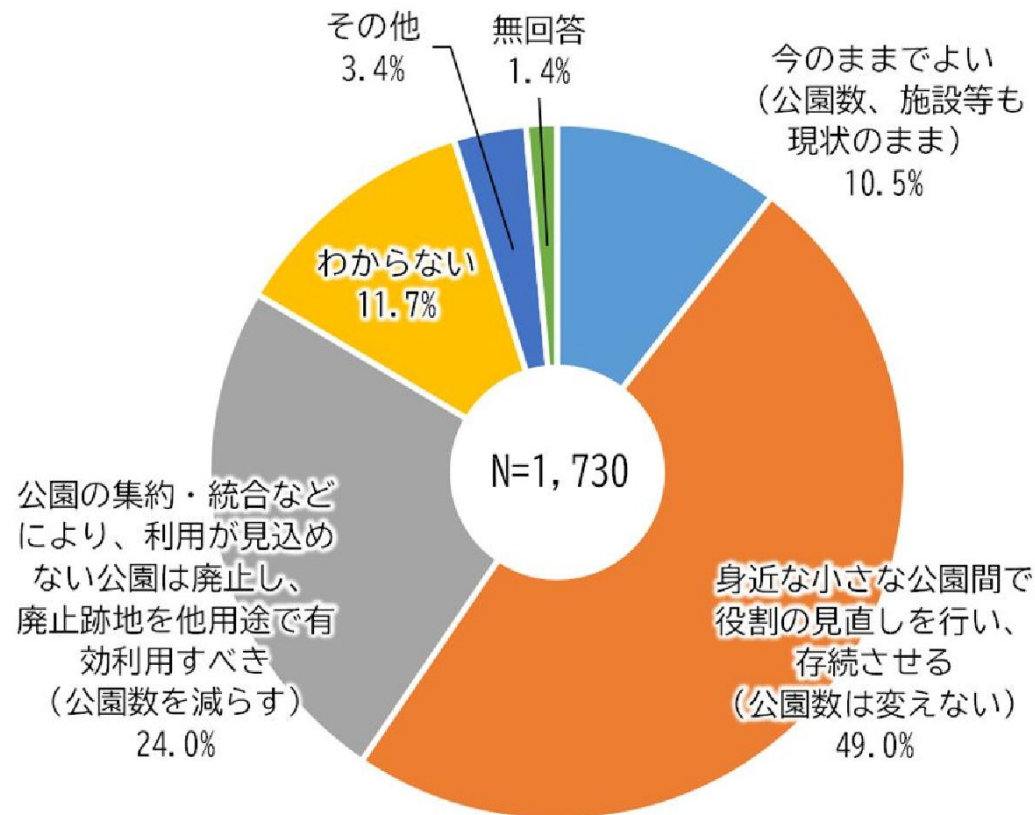
⇒ほとんど利用しない約60%



公園利用者は年々減少し、身近な公園をほとんど利用しない人は約6割です。子どもの成長段階やライフスタイルの変化などに対応した公園の見直しが必要です。

●データでみる「公園の現状と課題」 ③

■今後の公園のあり方の意向

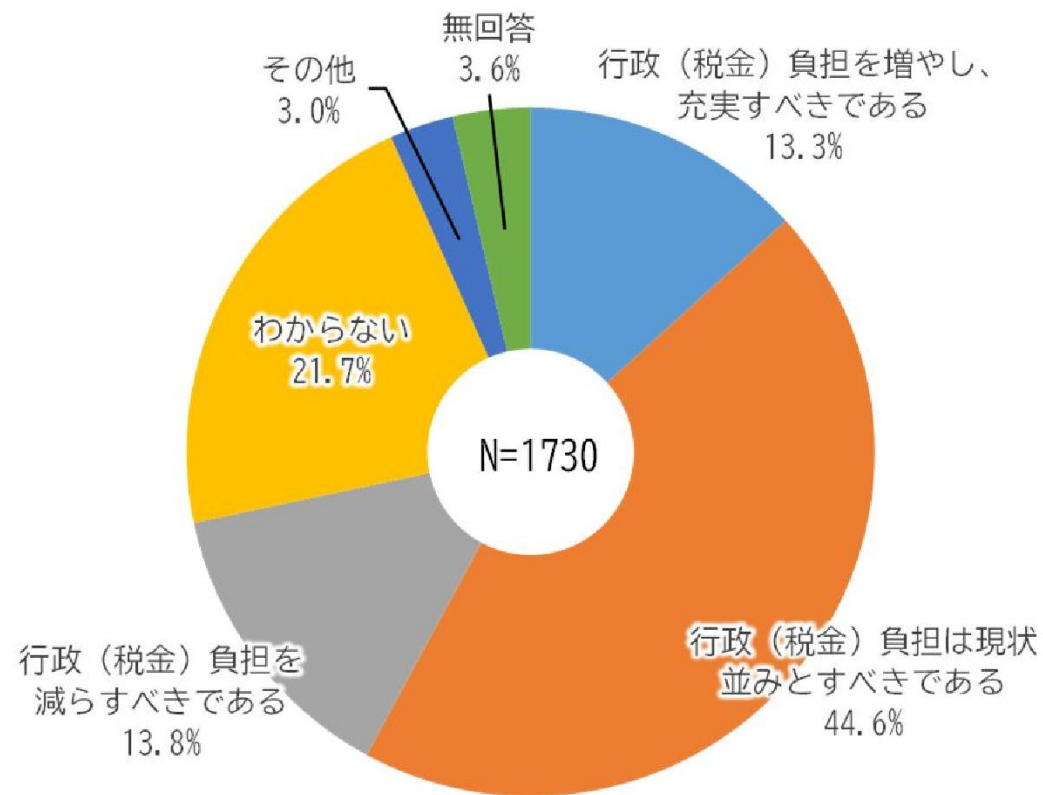


市民アンケート

利用されていない公園のあり方は、「現状のままでよい」は1割、7割を超える多くの人が機能見直しや集約・統合等による有効活用を求めています。

●データでみる「公園の現状と課題」 ④

■行政負担の考え方について



市民アンケート

行政負担の考え方として、現状並みや減らすべきとの回答が約6割であり、行政負担が増えないことを多くの人が求めています。

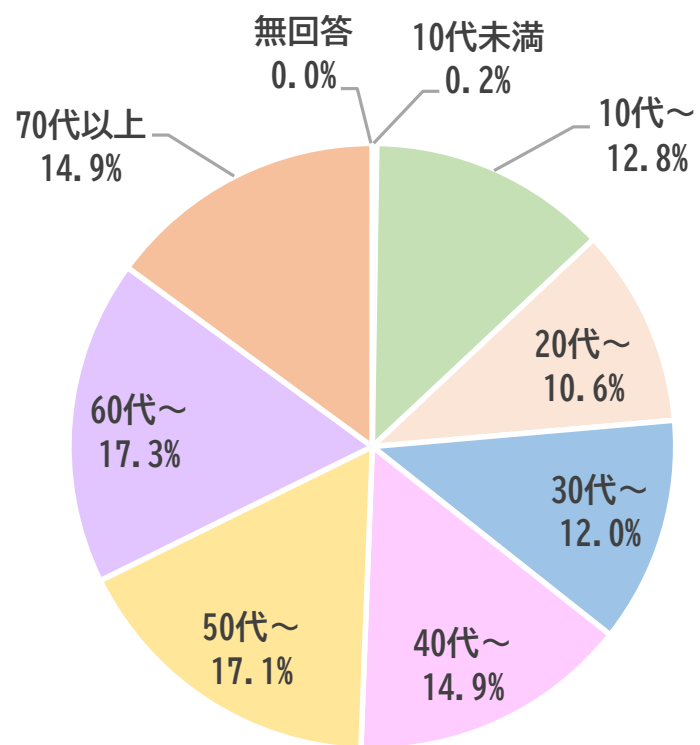
② 地区アンケート結果 (全415票)

回収率：41.5%（配布数1,000部、回収数415票）

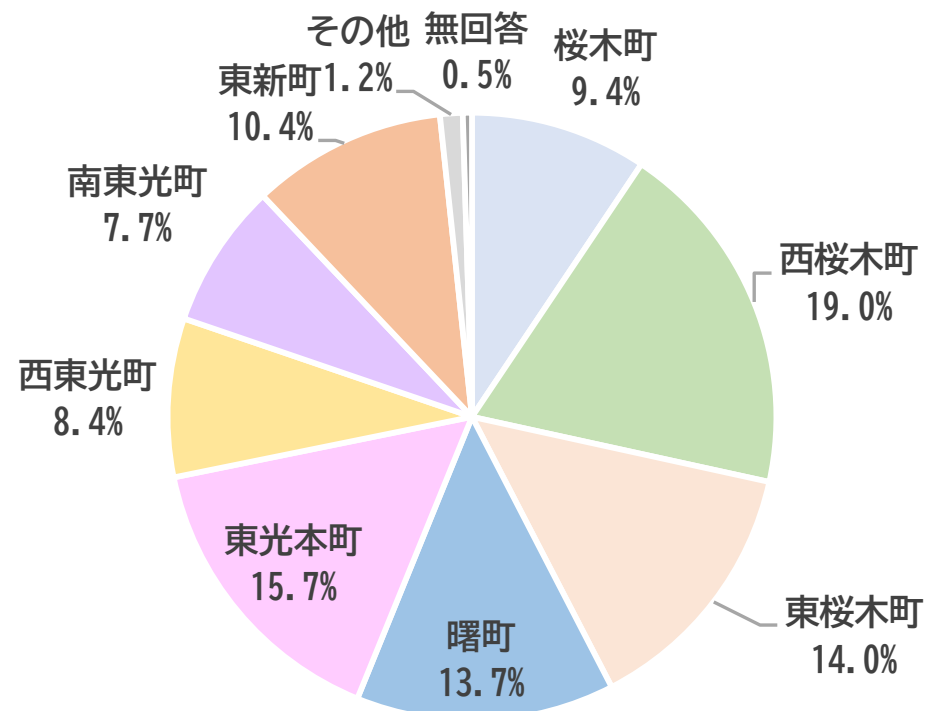
対 象：桜木小学校区内の住民の方（無作為抽出）

●地区アンケート結果

属性) 01 年齢別

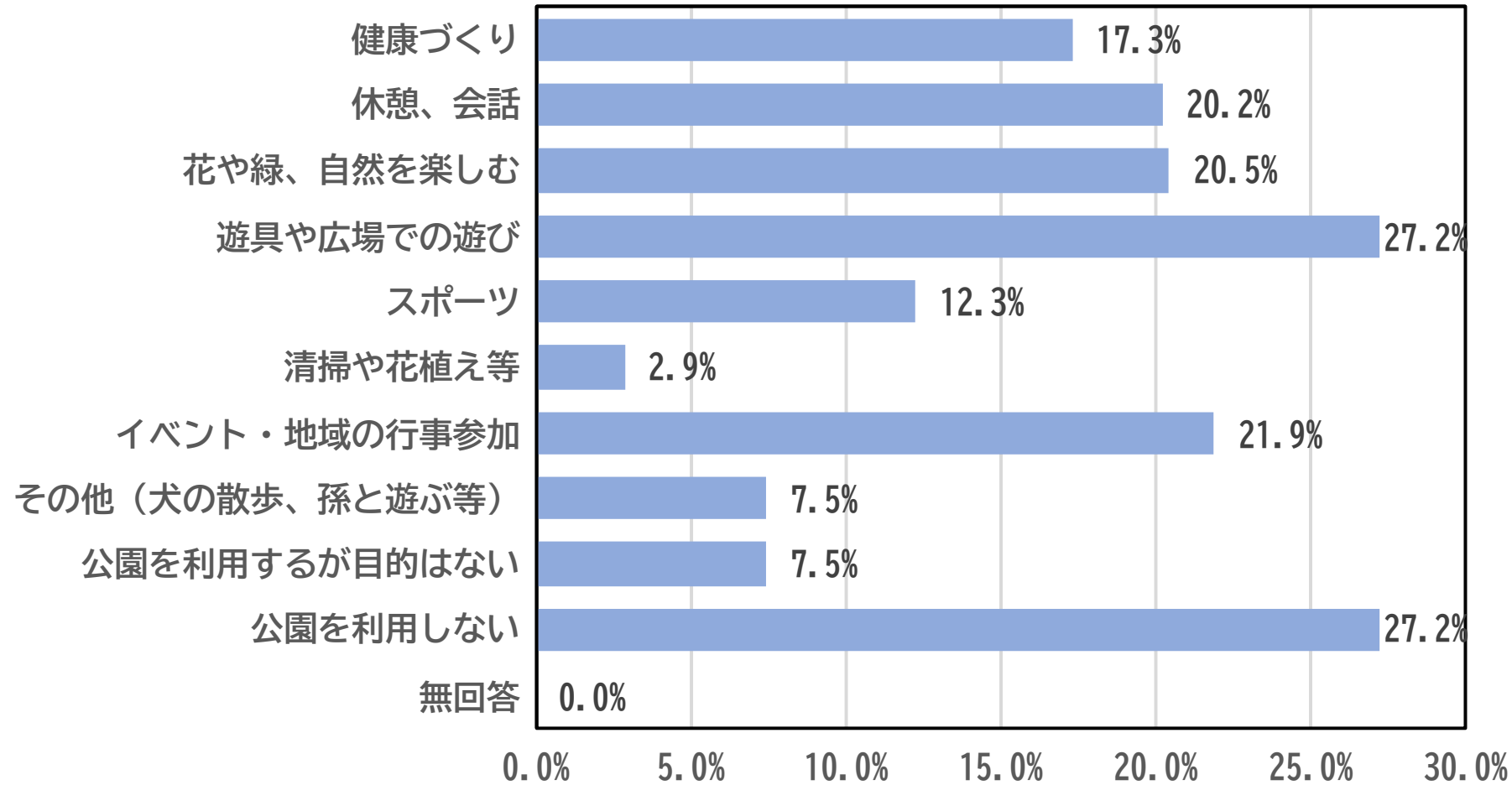


属性) 02 住まい別



● 地区アンケート結果

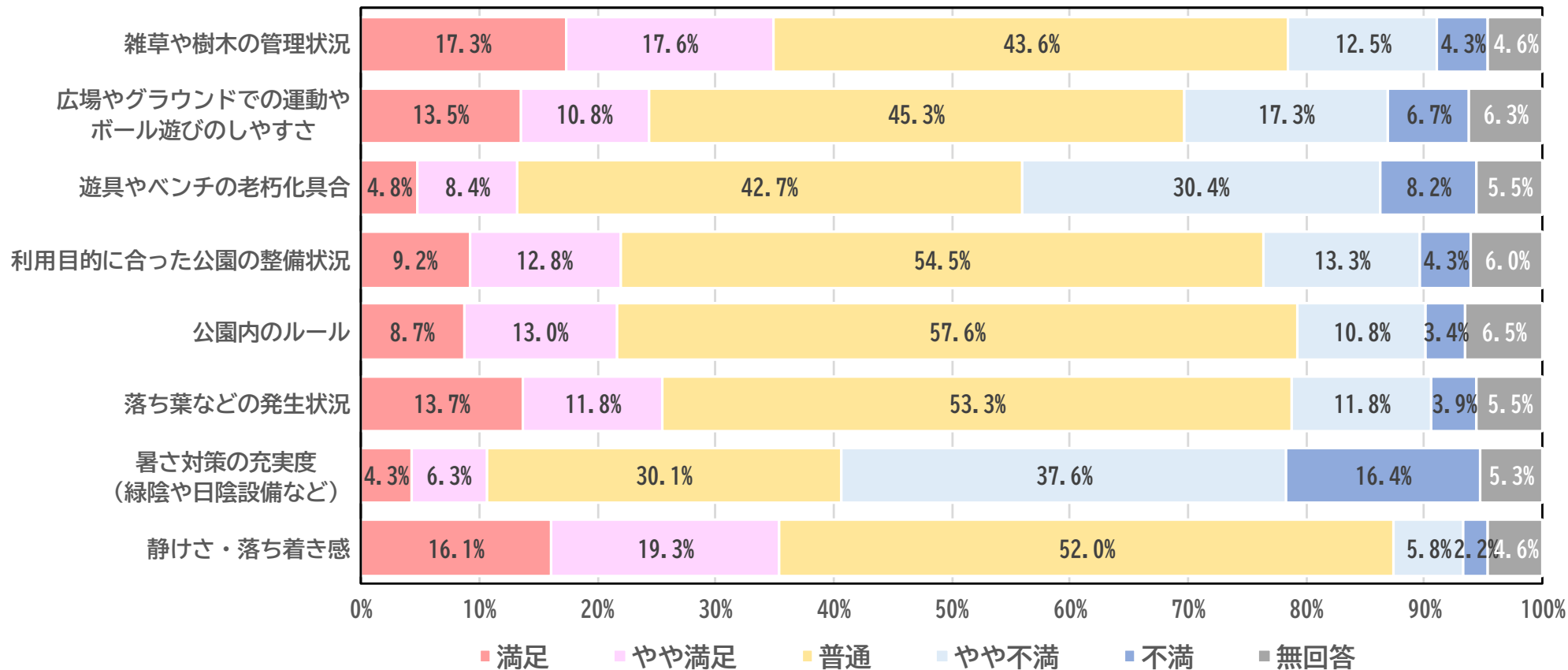
03 利用目的



- ・約3割の人々が公園を利用しないと回答している。
- ・遊びやスポーツなどの活発な利用と、自然を楽しむ、休憩など静かな利用が同程度の割合となっている。

● 地区アンケート結果

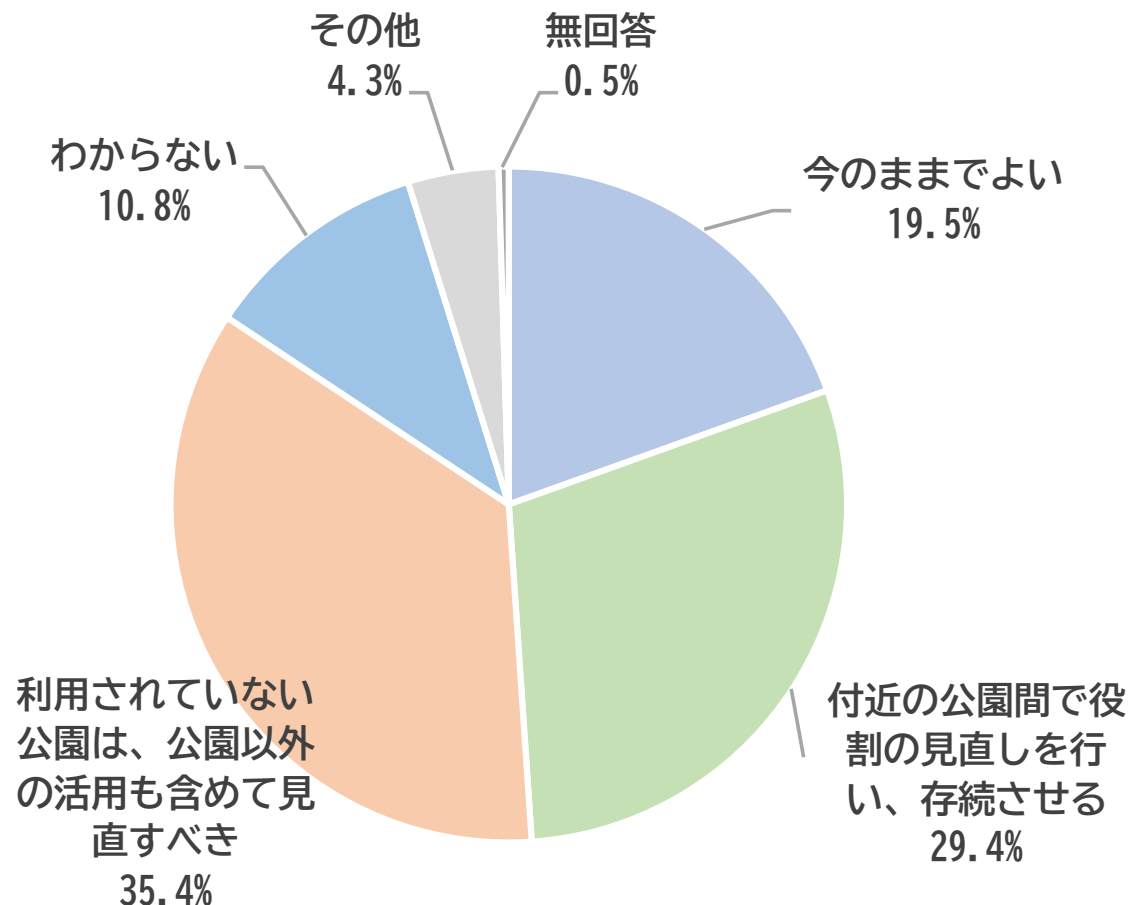
04 公園の項目別満足度



- ・ 全般としては普通～満足が約8割程度であるが、施設の老朽化や暑さ対策に対しては満足度が低い

③ 地区アンケート結果

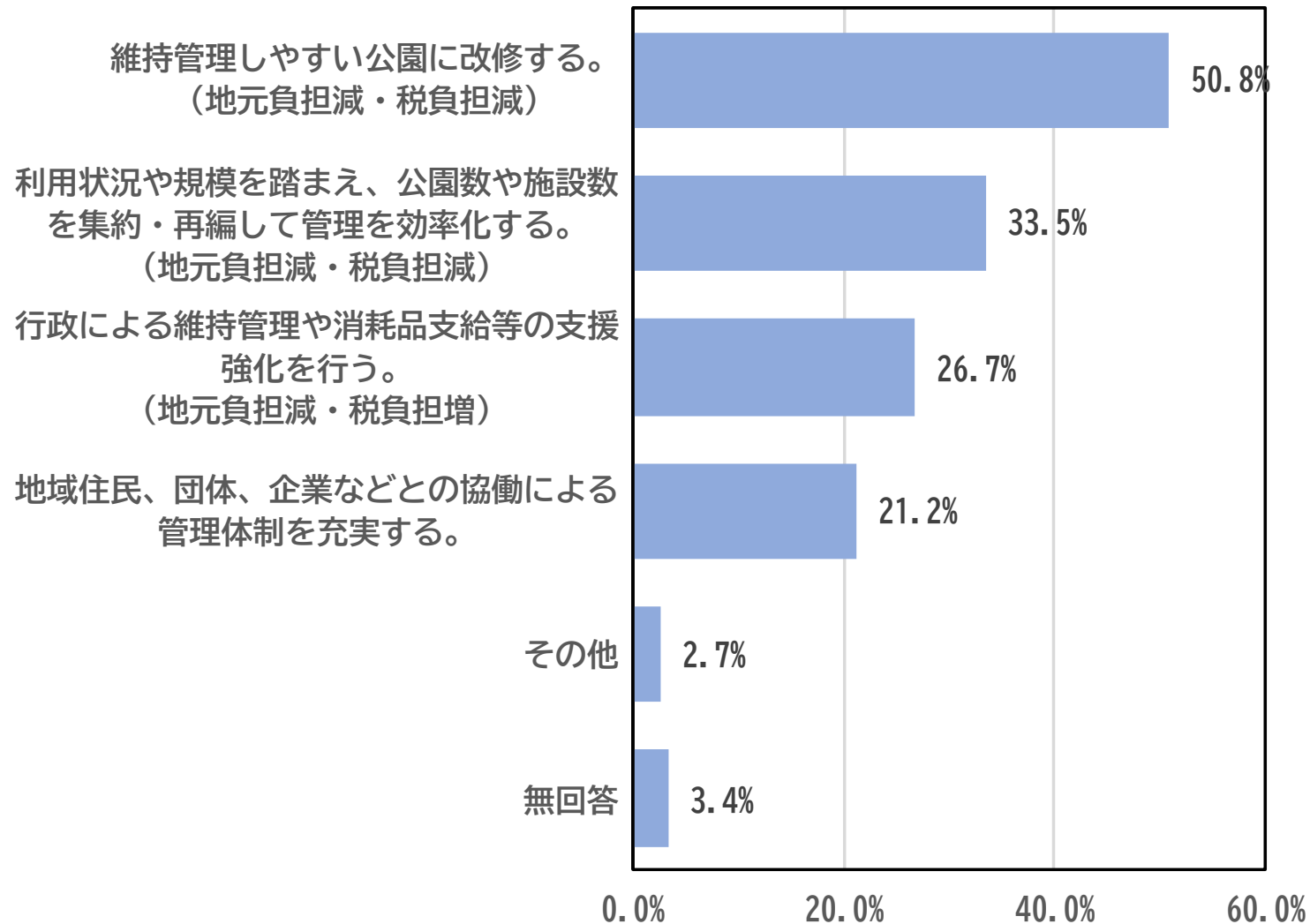
05 今後のあり方



- ・ 6割以上の人々が公園の役割等の見直しが必要であると考えている。

● 地区アンケート結果

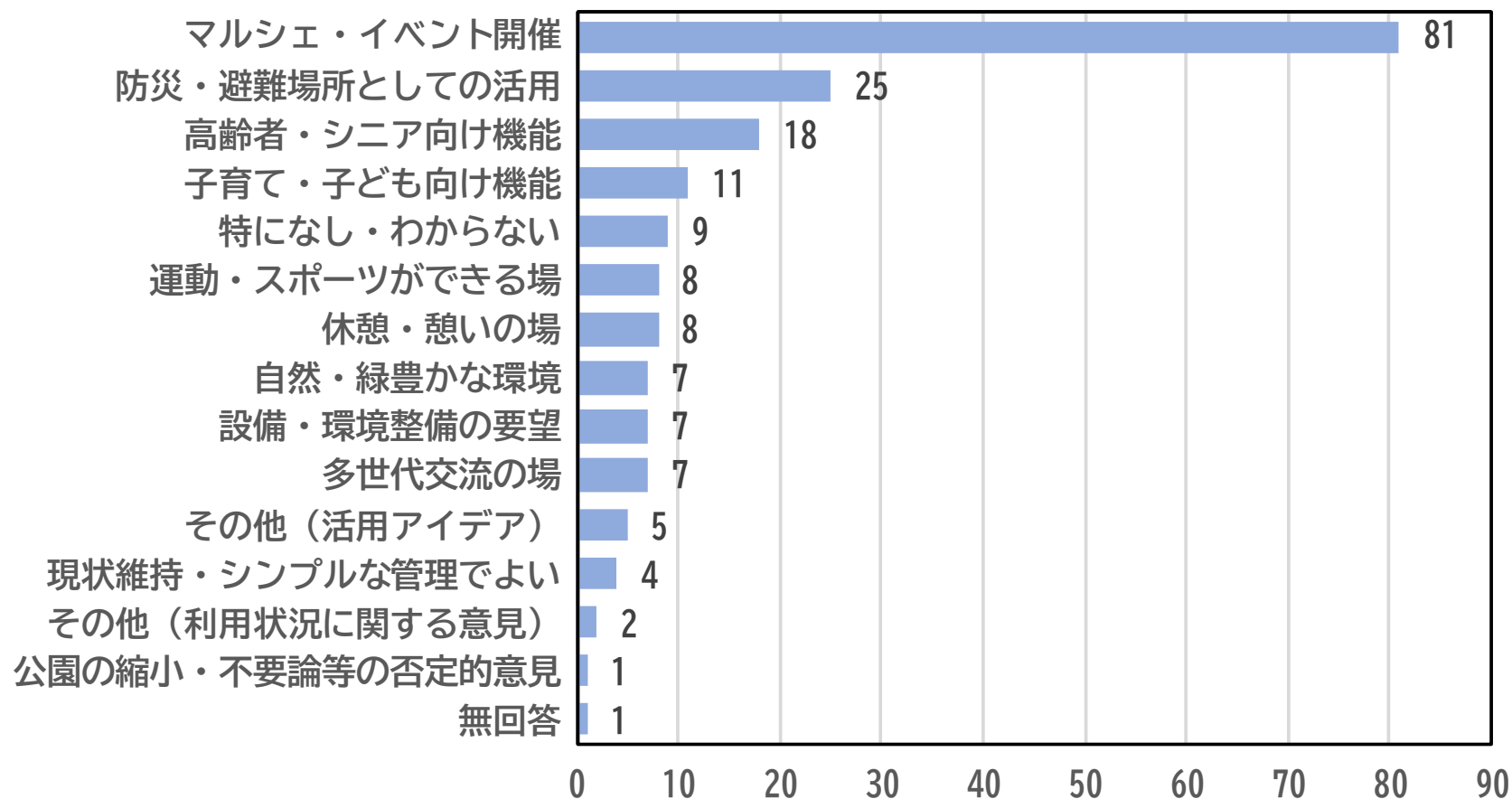
06 管理に必要なこと



- ・ 税負担を抑えつつ地元負担を減らすとの回答が多い

● 地区アンケート結果

07 新しい役割（公園管理の立場）



・ イベント・行事等に関する意見が多く、その他にも防災機能や高齢者・子ども向け機能など、さまざまな意見がある

④ 再編方針素案の説明

(豊川市公園施設等利活用・適正化計画
桜木小学校区 再編方針)

1. 豊川市公園施設等利活用・適正化計画の概要

- ・令和8年3月に市全体の公園の再編方針を定める計画を策定

●目指すべき姿

地域に愛される “暮らしを豊かにする空間”
としての公園の再生

●基本目標

利活用

魅力ある地域の公園

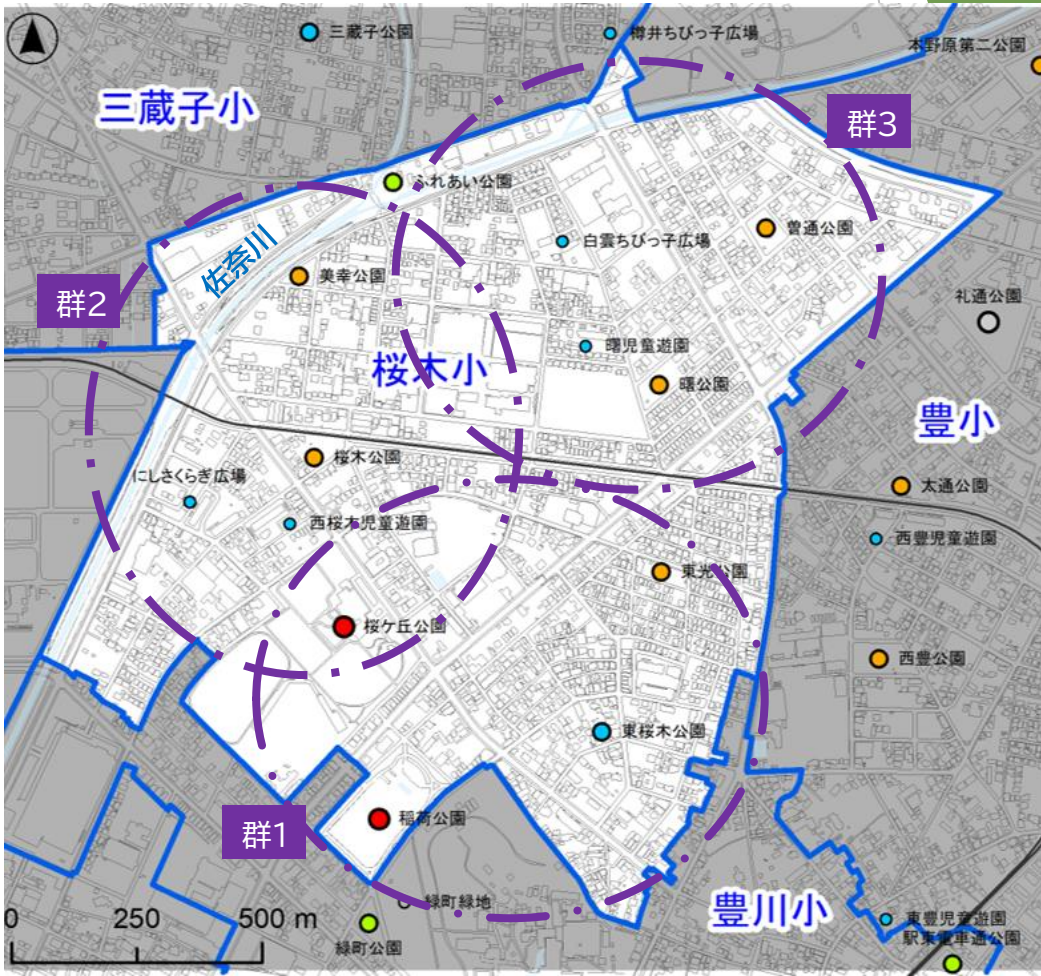
適正化

持続可能な公園



- ・ 検討は、概ねの徒歩圏（500m）を想定した「群（ぐん）」の単位ごとで、身近な小さな公園を中心に行います

身近な 小さな 公園	群 1	東光公園 東桜木公園
	群 2	美幸公園 桜木公園 ふれあい公園 西桜木児童遊園 にしさくらぎ広場
	群 3	曙公園 曾通公園 曙児童遊園 白雲ちびっ子広場
大きな 公園	共 通	桜ヶ丘公園 稲荷公園



- ・ **群（ぐん）** のなかで、公園の役割を「みなおす」、「まとめる」ことで、各公園の特徴をいかしたまち全体の魅力アップをしていきます。

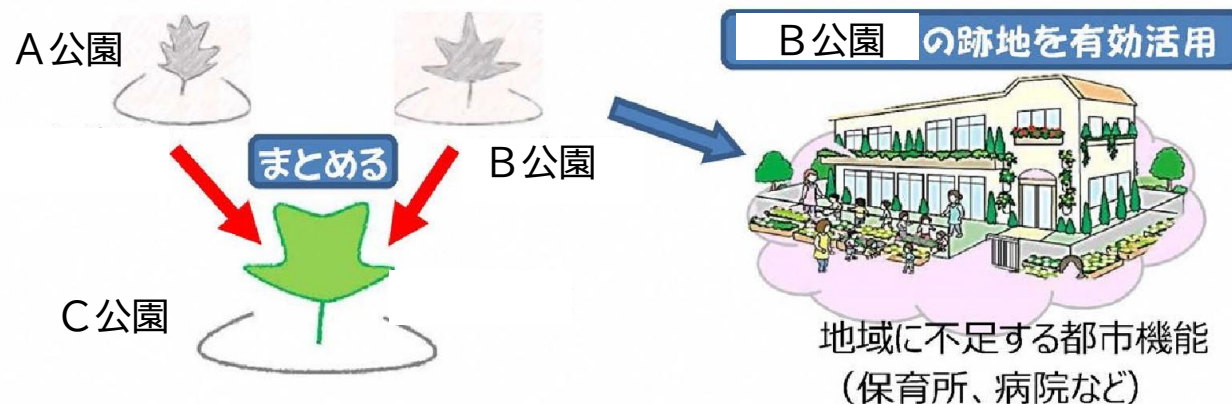
【機能の再編】

○みんなが使いやすい公園になるように、役割を「**みなおす**」。



【配置の再編（集約化）】

○地域に親しまれ、使われる公園となるように、公園を「**まとめる**」。

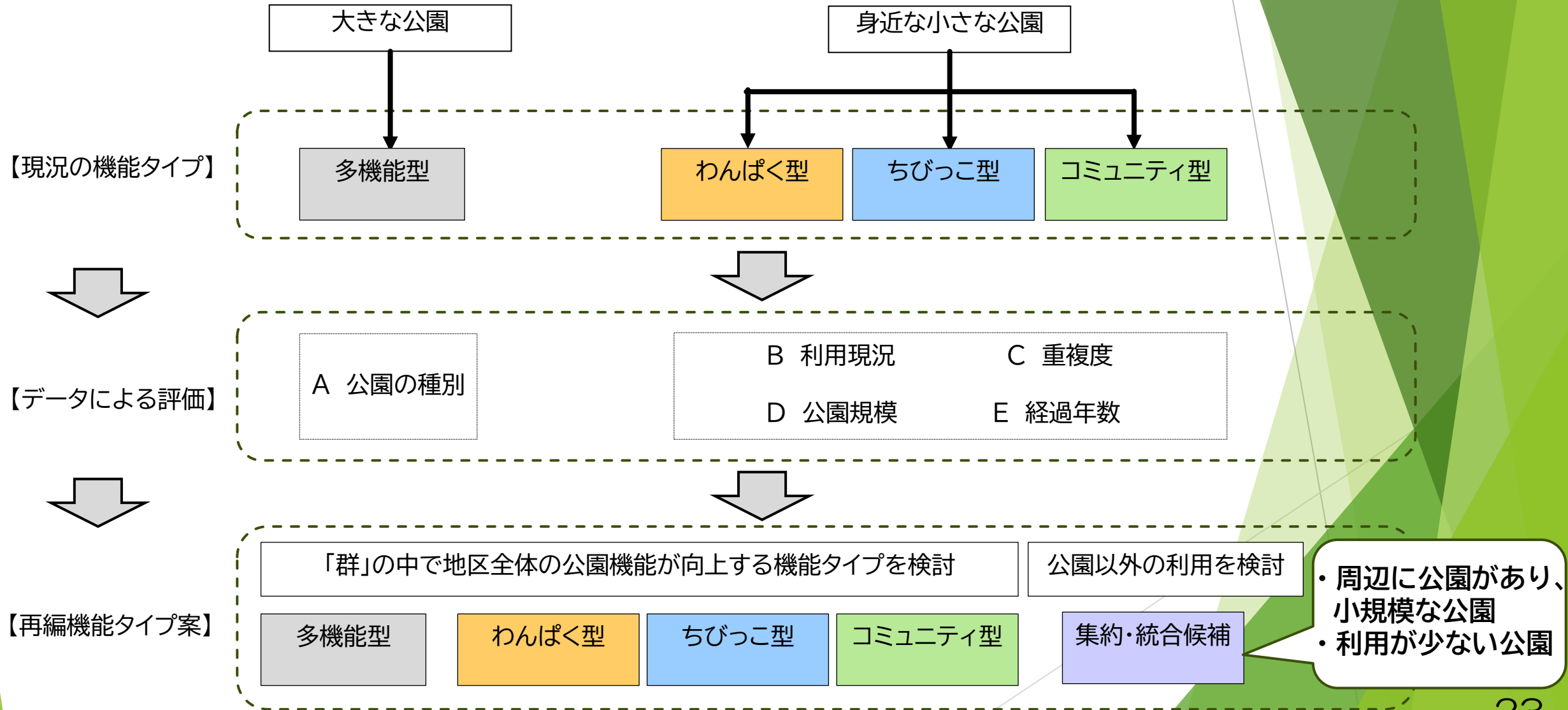


■公園機能タイプ設定

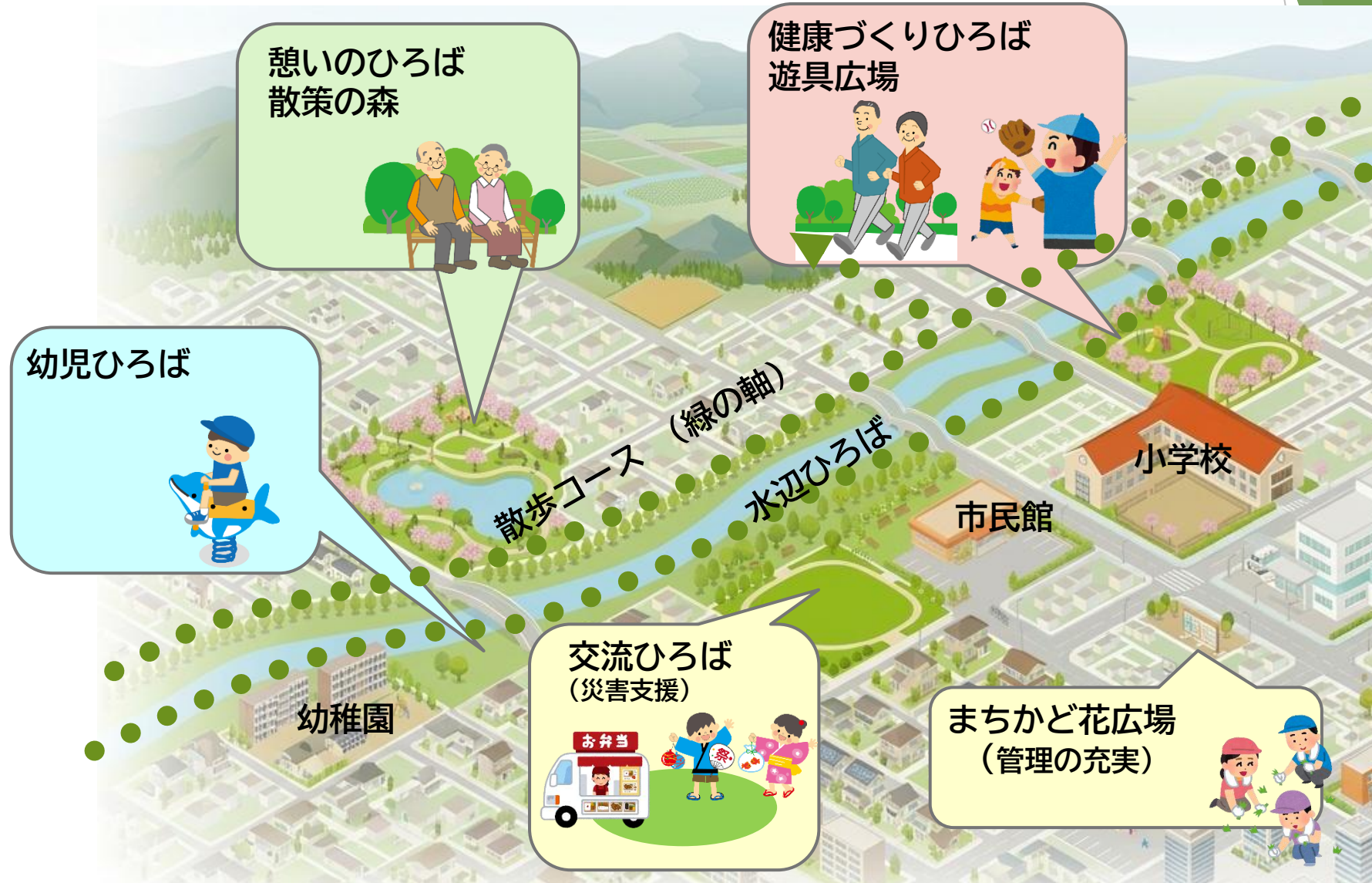
タイプ	公園特性
多機能型	・ 地区の中心にあり、広い敷地を多機能に利用 ・ 近隣公園又はそれに準じる公園 ・ 緑のネットワーク、散策ネットワークの核となる
わんぱく型	・ 規模は比較的大きい ・ 運動スペースや高学年向けの遊具がある ・ 利用層は子どもが多い ・ 町内会の利用がある ・ ボール遊びができる広場がある
コミュニティ型	・ 利用層は幅広い世代 ・ 遊具利用が少ない ・ イベントや町内会の利用がある ・ 市民館や学校等と連携した利用が有効な位置 ・ 規模の規定はなし ・ 緑陰樹がある
ちびっこ型	・ 規模は小さく、ボール遊びや走りまわる広さはない ・ 利用層は低学年、幼児が多い ・ 低学年、幼児向けの遊具がある

2. 地区の再編方針素案

■作成フロー



■公園機能タイプのイメージ



⇒いろいろなタイプの公園や緑で、まちがつながる！

■各公園の再編機能タイプ（案）

桜木小学校区 公園再編方針案（WS用）

群番号	公園	公園種別	面積 (㎡)	現況 機能タイプ	再編 機能タイプ (案)	整備の方向性
1	東光公園	街区公園	2,000	わんぱく型	コミュニティ型	市民館隣接を活かした継続利用とし、コミュニティ性に特化
	東桜木公園	街区公園	1,127	ちびっこ型	ちびっこ型	現状機能で継続利用
2	美幸公園	街区公園	1,580	わんぱく型	コミュニティ型	佐奈川沿川に位置、散策休憩の場、群の中での機能分担により機能変更
	桜木公園	街区公園	2,092	わんぱく型	わんぱく型 + ちびっこ型	近隣の児童遊園が集約・統合を検討しており、利用継続として幼児機能を追加
	ふれあい公園	街区公園	1,282	コミュニティ型	コミュニティ型	散歩者が多い佐奈川沿川にあり継続利用
	西桜木児童遊園	児童遊園	617	ちびっこ型	集約・統合候補	誘致圏が重複しているため、地域の方が使いやすい公園以外の活用方法について検討
	にしさくらぎ広場	緑地・広場	232	ちびっこ型	集約・統合候補	利用者が少なく、誘致圏が重複しているため、地域の方が使いやすい公園以外の活用方法について検討
3	曙公園	街区公園	3,054	わんぱく型	わんぱく型 + ちびっこ型	近隣の児童遊園が集約・統合を検討しており、利用継続として幼児機能を追加
	曾通公園	街区公園	2,804	わんぱく型	わんぱく型 + コミュニティ型	近隣の児童遊園が集約・統合を検討しており、現状機能で継続利用とし、コミュニティ機能を向上
	曙児童遊園	児童遊園	345	ちびっこ型	集約・統合候補	利用者が少なく、誘致圏が重複しているため、地域の方が使いやすい公園以外の活用方法について検討
	白雲ちびっ子広場	ちびっ子広場	257	ちびっこ型	集約・統合候補	利用者が少なく、誘致圏が重複しているため、地域の方が使いやすい公園以外の活用方法について検討
共通	(稲荷公園)	近隣公園	24,535	多機能型 (大きな公園)	多機能型 (大きな公園)	にぎわいの場としての活用に配慮しリニューアル
	(桜ヶ丘公園)	地区公園	40,809	多機能型 (大きな公園)	多機能型 (大きな公園)	地域の核となる公園として機能向上
	(礼通公園) ※豊小学校区	近隣公園	10,623	多機能型 (大きな公園)	多機能型 (大きな公園)	グラウンド予約が年間多数、現状継続

・各公園の評価結果は、この後のグループ意見交換においてご説明いたします

⑤ 意見交換 (ワークショップ方式)

ワークショップとは

- ▶ ワークショップとは、**みんなで集まって、知恵を出し合ったり、グループで作業しながら、一つのものを作り上げていく**作業のことをいいます。

今回のワークショップは、

**校区内の公園をそれぞれ、
どんな公園にしたいか**

をみなさんで考えます！

ワークショップの様子



〇〇公園は
河川敷に近い
から静かな
公園にしたい

〇〇公園は
走りまわって
遊べる広場が
ほしい

〇〇公園は
市民館が近くにある
から、地域活動の拠
点にしたい



ワークショップの流れと本日のテーマ

第1回（8月30日） 《公園再編の方針案について考えよう！》

- ①公園の現状、方針素案について確認しよう！
- ②公園の良いところ、使いづらいところを考え、公園再編案について考えよう！

第2回（10月） 《再編の方向性を検討しよう！》

- ①各公園の整備テーマを考えよう！
- ②各公園でやりたいことを考えよう！

第3回（11月） 《再編方針を確認しよう！》

- ①これまで2回の意見交換で整理した再編方針について確認しよう。
- ②桜ヶ丘公園に求める機能を考えよう！

日程は諸事情により変更となる場合があります。
その際は、ご連絡させていただきます。ご了承ください。

ワークショップのルールとマナー みなさんへのおねがいごと



✓ **真面目に楽しく** 話しましょう！

自分の思いは**自由**に発言しましょう！

✓ **みなさんの意見**を聞きましょう！

「いいね！」の気持ちで聞きましょう！否定はしないでね！

✓ **ワークショップは公園を使うみなさんが主役**です！

実際に使っていることを**想像してみてください**ね！

✓ **ひとり舞台にならない**よう、**チームで考え**ましょう！

意見は1～2分程度で簡潔にお願いします！

⑤ 発表

⑥ 先生からのアドバイス

7

質疑応答

次回の予定

第1回 ワーク ショップ

テーマ【公園を語ろう】

- ・ 公園現況、再編方針素案の説明
- ・ 素案をもとに公園利用イメージを話し合う

第2回 ワーク ショップ

テーマ【方向性の検討】

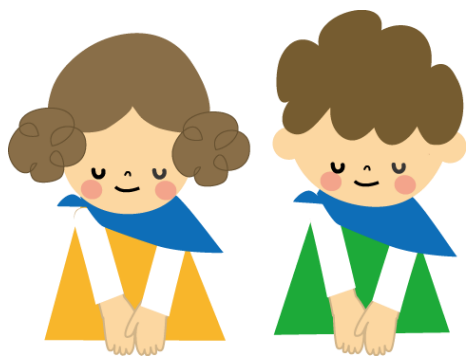
- ・ 各公園の特徴（整備テーマ）の検討
- ・ やりたいことを話し合う。

終わりのあいさつ

次回ワークショップ

10月頃

場所：未定



おつかれさまでした
次回もお待ちしています